

# 女の仕事

主に植物の採集・加工を担い  
現代までその知識と技術を受け  
継いできたのは女性たちで  
した。

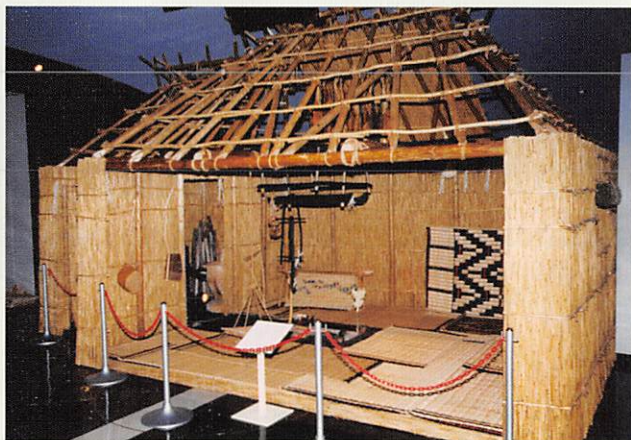
樹皮製衣服/アットゥシ  
アイヌ/北海道・貝澤雪子氏作  
(財)アイヌ文化振興・研究推進機構蔵



アットゥシ織りの様子 (遠山サキ氏)

## チセー植物に囲まれたくらしー

チセは、柱や屋根を木で組み、ヨシやススキ、ササなどで  
葺いた伝統的なアイヌの住居です。屋内の床や壁には、こ  
ざが敷き詰められ、まさに植物に囲まれたくらしでした。



写真提供：(財)アイヌ文化振興・研究推進機構/2000年復元・製作

### 関連事業

- 特別講演会「草木のいのちを食す」  
7/30(土) 13:30～16:30  
講師：小山修三氏(国立民族学博物館名誉教授)  
山岸喬氏(北見工業大学教授)
- 親子講習会「ウバユリからでんぶんを採ろう」  
7/23(土) 13:30～16:30  
講師：内田祐一氏(帯広百年記念館学芸員)
- 講習会「草木染め体験」  
8/20(土) 13:00～16:00  
講師：齋藤玲子(当館主任学芸員)
- 講習会「山の幸をつかったアイヌ料理」  
10/1(土) 11:00～13:30  
講師：床明氏・床みどり氏(阿寒町:アイヌ文化伝承者)
- 「アットゥシ織り実演とキナ織り体験」  
9/18(日) 午前 アットゥシ織り実演と糸より(カエカ)体験  
午後 キナ織り体験  
講師：遠山サキ氏・堀悦子氏(浦河町:アイヌ文化伝承者)  
\*(財)アイヌ文化振興・研究推進機構の「アイヌ文化アドバイザー派遣事業」助成



椀(わん)・キハダの実  
アイヌ/北海道  
当館蔵

### 協力：

(財)アイヌ文化振興・研究推進機構、北海道開拓記念館  
帯広百年記念館、斜里町立知床博物館、(財)アイヌ民族  
博物館、静内町アイヌ民俗資料館、(財)北海道埋蔵文  
化財センター、(株)さっぽろ自然調査館、知里真希氏、  
日川清氏、遠山サキ氏、堀悦子氏、床明氏、床みどり氏、  
山岸喬氏、岡田淳子氏、呉人恵氏、村木美幸氏、水島未記氏

表の写真：右上から時計回りに かご容器(トリンギット/アラスカ) 手甲(ア  
イヌ/北海道・藤谷るみ子氏作) 盆(アイヌ/北海道・貝澤真紀氏作)、樹皮製  
容器(ナーナイ/ロシア)、かご細工(イヌイト/アラスカ)、オオウバユリの花

## 北海道立北方民族博物館 Hokkaido Museum of Northern Peoples

093-0042 北海道網走市字潮見309番地1(天都山・道立オホーツク公園内)  
Tel:0152-45-3888/Fax:0152-45-3889/e-mail:tonakai@hoppohm.org  
http://hoppohm.org/



第20回特別展

## アイヌと 北の植物民族学

～たべる・のむ・うむ～

Plant Use among the Ainu and Northern Peoples

2005. 7.16(土)～10.10(月・祝)



■休館日 7・8月 無休  
9・10月 9/5, 12, 20, 26, 10/3

■開館時間 7・8月 9:00～17:00  
9・10月 9:30～16:30

■観覧料 一般 450(360)円  
高・大生 150(120)円  
小・中生 70(40)円

※( )内は10名以上の団体料金。常設展セット割引有り

北海道、サハリン、アムール流域、カムチャツカ、アラスカ、カナダなどの環北太平洋地域の先住民には、共通の植物利用法が知られています。草木の少ないツンドラ地帯でも薬や染料、儀礼具などに植物は欠かせないものでした。これらの技術や知恵は、その多くが女性によって伝えられ、現代まで継承されています。この特別展では、北海道のアイヌを中心に、たべる・のむ・うむ（續む）の3つに焦点をあて、先住民の植物利用法を紹介します。



イケマの根のお守り  
アイヌ／北海道  
(財)アイヌ文化振興・研究推進機構蔵



エソノウワミズザクラ(食用・薬用)

## たべる

デンプンを含むユリ根は、食生活の柱ともなっていました。多種の食材・香辛料・ハーブとして利用されるものや、食器、採集・加工具を紹介します。



オオウバユリとその鱗茎



杓子(しゃくし) ニーフ／サハリン  
斜里町立知床博物館蔵



掘り具  
アイヌ／アラスカ  
当館蔵

## のむ

薬として、茶として飲まれ、健康を支えた多種の草木。なかには医学的に薬効の認められるものもあり、また、信仰とかかわるものも少なくありません。



トリカブト(矢毒用・薬用)



イソツツジ(薬用・茶用)

## サク

夏：根茎の採取、樹皮剥ぎ



春：山菜採り、畑づくり  
凍みイモ、樹液集め

## パイカラ

写真：1 呉人恵氏提供、2 静内町アイヌ民俗資料館提供、3・4の人物は遠山サキ氏

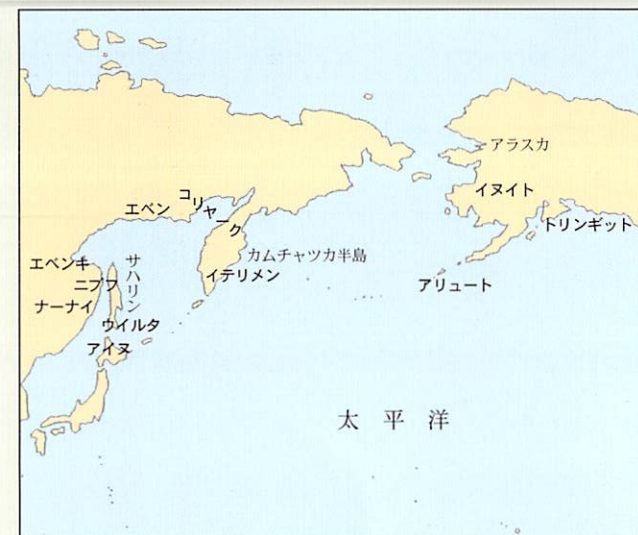
## チュク

収穫、冬支度：秋  
繊維用の草の採集



糸づくり：冬  
手仕事、編織物

## マタ



展示で紹介する主な民族

## うむ

樹皮や草などの植物性繊維で織物をつくる技術の北限は、アイヌ文化でした。また、北太平洋沿岸はバスケット細工の発達した地域でもありました。



かご容器 コリヤーク／カムチャツカ  
当館蔵



葦(アシ)製かご アイヌ／北海道  
帯広百年記念館蔵



ハマニンニク(かごの素材)